

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	沖縄空手会館	対象年度	令和3年度
------	--------	------	-------

【 目 次 】

I.	履行確認	2
1.	維持管理業務	2
(1)	清掃	
(2)	保守・点検	
(3)	保安・警備	
(4)	小規模修繕	
(5)	備品購入	
(6)	防犯・防災対策	
(7)	料金徴収業務	
2.	運營業務	7
(1)	利用実績	
1)	利用者数等	
(2)	運営企画	
(3)	受付・接客	
(4)	広報	
(5)	情報管理	
3.	自主事業	11
II.	サービスの質の評価	12
1.	維持管理業務	
2.	運營業務	
3.	自主事業	
4.	総合評価	
III.	サービスの安定性評価(財務状況)	14
1.	事業収支	
(1)	収入	
(2)	支出	
2.	経営分析指標	
IV.	総合評価	16
1.	目標	
2.	評価結果	

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	沖縄空手会館	対象年度	令和3年度
指定管理者	沖縄空手振興ビジョン推進パートナーズ (構成企業：(代)沖縄ツーリスト(株)、沖縄ビル管理(株)、(有)西原農園、(株)セイカスポーツセンター) 指定管理期間：令和2年4月1日～令和5年3月31日	所管課	文化観光スポーツ部 空手振興課

I. 履行確認

1. 維持管理業務

(1) 清掃

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
<p>〈日常清掃〉 通常清掃の他に職員により巡回清掃を実施します。なお、業務仕様書に記載の業務内容を的確に実施いたします。</p>	○	○	<p>2名体制（業務委託）で施設全てのトイレ・シャワー室、道場棟及び展示棟の床面、廊下、倉庫を毎日清掃。 その他、職員による塵芥等の除去、モップ拭き上げ、敷地内の巡回清掃などを毎日実施。 道場施設、展示施設、特別道場は催事開催前後に清掃を実施する。</p>	<p>道場施設、展示施設、駐車場、園路の清掃状況を確認するとともに、委託契約書の報告書、指定管理者へのヒアリング等を実施。 日常清掃は、業務委託及び職員により毎日清掃が行われており、各施設は清潔に保たれている。</p>	<p>報告書のとおり、適切に実施されている。</p>	<p>良好。 引き続き施設内の衛生管理の徹底に努める。</p>
<p>〈定期清掃〉 定期的な清掃を実施する。</p>		○	<p>年1回実施。 フローリング床面、座席（道場棟及び展示棟全体）。 磁器タイル、琉球石灰岩（道場棟及び展示棟）。 絨毯床面（展示棟）。</p> <p>年2回実施。 ガラス面（道場棟及び展示棟）</p>	<p>現場の確認、委託契約書、清掃業務の報告書、指定管理者へのヒアリング等を実施。 定期清掃では、無垢木材にも配慮した方法で清掃が実施されている。</p>	<p>報告書のとおり、適切に実施されている。</p>	<p>良好。 引き続き施設内の衛生管理や環境保全に努める。</p>

(2) 保守・点検

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
<p><環境衛生> 施設を安全に運用するために衛生設備の管理を徹底する。</p>		○	<p>残留塩素測定：週1回/ 飲料水貯水槽の清掃・点検：年1回/ 空気環境の測定業務：年6回/ 鼠・昆虫等の除去作業：夏冬の2回/ 水質検査：年1回/ 雑用水水質検査：年6回/ 簡易専用水道検査：年1回</p>	<p>環境衛生業務の報告書、委託契約書、指定管理者へのヒアリング等を実施。 環境衛生面では、委託事業者による定期点検が行われていることを確認した。</p>	<p>報告書のとおり、適切に実施されている。</p>	<p>良好。 法的の基準のとおり検査・清掃が行われている。引き続き施設の衛生管理に努める。</p>
<p><設備点検> 電気設備、消防設備の点検等を実施し、管理を行う専門スタッフを配置する。</p>		○	<p>沖縄ビル管理(株)による空調点検を実施。 受電設備、配電設備、非常用発電設備等の電気設備点検を年6回実施。/消防設備点検：年2回</p>	<p>指定管理者へのヒアリング、設備点検報告書、委託契約書の確認を実施。 設備関係では、施設の点検及び報告がされていることを確認した。</p>	<p>報告書のとおり、適切に実施されている。</p>	<p>良好。 引き続き施設の適切な保守点検に努める。</p>

(3) 保安・警備

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
<開館日>		○	8時30分～21時30分の間、常時1名体制による警備を実施。	指定管理者へのヒアリング、警備日誌の確認を実施。	報告書のとおり、適切に実施されている。	良好。 引き続き館内の安全確保に努める。
<閉館日>		○	8時30分～17時15分の間(休憩1時間)、1名体制による警備を実施。	開館日及び閉館日の日中には警備員が常駐しており、夜間は室内センサーによる機械警備が実施され異常があった場合には警備員が急行する体制が構築されている。		
<夜間>		○	21時30分～翌8時30分の間、機械警備を実施。また25時頃には巡回点検警備を実施。			

(4) 小規模修繕

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
1件につき20万円未満の物については指定管理者が実施。		○	<ul style="list-style-type: none"> ・道場棟床面ワックス塗布 ・芝刈り機、高水圧洗浄機の修理 ・北側自動ドア、西側自動ドア修理 ・一般保管庫の空調自動制御システムの修理 ・ITV機器モニターの修理を実施。 	補修箇所を確認したほか、指定管理者へのヒアリング、修繕等施設管理業務の報告書等の確認を実施。	報告書のとおり、適切に実施されている。	良好 今後とも、不具合等が発生した場合は、迅速に対応し施設機能の維持に努める。

(5) 備品購入

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
該当なし	○					

(6) 防犯・防災対策

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
職員等による防犯、応急手当の訓練実施。AED、救急薬品等の整理。県及び警察、消防等の関係機関を含めた危機管理体制の構築、危機管理マニュアルの整備を実施する。防災訓練を豊見城消防署の指導のもと定期的の実施する。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・ 5/26：全館の消防設備点検を実施 ・ 10/21：消防訓練を実施（特別道場から出火し、初期消火は失敗、避難誘導のシナリオ）。特別道場前庭で放水訓練と消火器取り扱い訓練を実施。 ・ 11/4：全館の防火対象物及び消防設備を点検。 ・ 1/27：消防訓練を実施（鍛錬室から出火し、初期消火は失敗、避難誘導のシナリオ）。 	指定管理者へのヒアリングを実施し、危機管理マニュアルの整備状況、消防署への報告書を確認した。	報告書のとおり、適切に実施されている。	良好。消防訓練が適切に実施されている。 引き続き適切な防犯・防災対策に取り組むこと。

(7) 料金徴収業務

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
施設利用料金、観覧料の収受	○		<p><道場施設> 窓口にて職員が料金徴収を行った。</p> <p><展示施設> 券売機を設置し、両替への対応や領収書の発行等については、受付カウンター職員が対応した。</p> <p><屋外鍛錬場、特別道場前庭、特別道場> 管理事務所窓口にて職員が料金徴収を行った。</p>	券売機（道場施設入口、資料室入口）の設置、稼働状況、収受した現金の管理方法等を確認。	報告書のとおり、適切に実施されている。	良好。 今後とも適切な徴収業務に努める。
1. 維持管理業務 取組改善案	維持管理業務について適切に実施されている。引き続き、安全・安心に利用できるよう施設の適切な維持管理に努める。					

2. 運営業務

(1) 利用実績

1) 利用者数等

		令和2年度 実績	事業計画 (目標値)	令和3年度 実績	整合性の検証		現状分析 ・課題	
					前年 比	計画 比		
利用者 数	道場施設	道場（共用利用）	670 人	2497 人	0 人	0.0%	0.0%	目標値に対する達成率の平均は94.7%となっている。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため共用利用を停止したことにより共用利用者は0となっている。感染症対策と平行した共用利用の方法が課題となる。
		道場（専用利用）	161 団体	181 団体	259 団体	160.9%	143.1%	
		鍛錬室（共用利用）	251 人	869 人	0 人	0.0%	0.0%	
		鍛錬室（専用利用）	692 団体	457 団体	874 団体	126.3%	191.2%	
		研修室（専用利用）	766 団体	638 団体	934 団体	121.9%	146.4%	
		小会議室（専用利用）	331 団体	432 団体	378 団体	114.2%	87.5%	
	展示施設	一般（個人）	1326 人	5219 人	2051 人	154.7%	39.3%	目標値に対する達成率の平均は28.6%となっている。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一部利用制限を行ったことが観覧者数の伸び悩みに影響している。感染症対策と平行した観覧者数増の取組が課題となる。
		一般（団体）	108 人	827 人	54 人	50.0%	6.5%	
		高・大学生（個人）	65 人	338 人	93 人	143.1%	27.5%	
		高・大学生（団体）	54 人	55 人	28 人	51.9%	50.9%	
		小・中学生（個人）	124 人	759 人	411 人	331.5%	54.2%	
		小・中学生（団体）	163 人	327 人	29 人	17.8%	8.9%	
		シルバー（65歳以上）	289 人	2544 人	333 人	115.2%	13.1%	
計								

新型コロナウイルス感染症の影響による閉館期間が101日と長期となったため、今年度については、評語を付さず「-」表記とする。

評価（①利用状況）

-

※道場施設

評価（①利用状況）

-

※展示施設

【評価基準（①利用状況）】

目標値に対する達成率

S：110%以上

A：100%以上、110%未満

B：80%以上、100%未満

C：80%未満

(2) 運営企画

事業計画	実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	(事業報告書)	(現地確認)		
〈開館日数〉 休館日以外	<ul style="list-style-type: none"> ・水曜日 ・12月30日 ～1月3日 	指定管理者へのヒアリングのほか、毎月の月報により確認	<p>報告書のとおり適切に実施されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨時休館の実施 (5/23～7/11, 7/22～9/12) ・開館時間の繰り上げ (10/24, 10/25) ・開館時間の短縮(4/12～5/22, 7/12～7/21, 10/1～10/31)を実施 	<p>良好 引き続き、利用者への適切なサービスに努める。</p> <p>休館日の臨時開館及び開館時間の変更については、引き続き条例に基づき適宜協議すること。</p>
〈開館時間〉 展示施設：9時～18時 展示施設以外：9時～21時	<p>展示施設 9時～18時</p> <p>展示施設以外 9時～21時</p>			

(3) 受付・接客

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
<p><専用利用> 館内掲示、HPにて随時会館の空き状況を提供する。HP予約システムやFAX等にて利用申請受付。前金の支払いにて利用許可としている。</p> <p><共用利用> 空きがある場合は随時受付する。少人数で気軽に利用する機会を提供する。実施にあたっては、安全性を確保した定員数及び基準の利用枠を考慮した設定とし、HPにて随時空き状況をお知らせする。</p>	○		<p><専用利用> 沖縄空手会館利用規程に基づき公平性を基本に提供した。空き状況は、電話対応はもとより沖縄空手会館HPでお知らせしている。利用申請受付は窓口対応をはじめ、HP予約システム、FAX及び電子メール等でも対応している。前金の支払いにて利用許可としている。</p> <p><共用利用> 事業計画のとおり対応した。</p>	指定管理者へのヒアリングにより確認	報告書のとおり、適切に実施されている。	良好 引き続き、利用者への適切なサービスに努める。

(4) 広報

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
国・県・市町村、関係団体、観光業界、マスコミ等との連携	○		新聞、ラジオ、雑誌・書籍、ツーリズムイベント、WEB等様々な媒体で29件の広報を実施した。	指定管理者へのヒアリングにより確認。ツーリスト「本社と連携した広報、雑誌等への広告掲載等を実施。	報告書のとおり、適切に実施されている。	良好。 ターゲット層に応じた広報媒体等を工夫するなど、効果的な広報に努める。

(5) 情報管理

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
個人情報の漏洩、滅失及び棄損の防止、その他個人情報の適正管理に努める。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議を定期的に行い、懸念事項等を事前にチェックした。 ・施設予約状況の公開に際しては、催事主催者に対し公表の可否を事前に確認し実施している。 ・個人情報を含む重要書類については金庫に保管している。また、廃棄に際してはシュレッダーにかけている。 	指定管理者へのヒアリングにより確認。	報告書のとおり適切に実施されている。	良好 引き続き適切な情報管理に努める。

3. 自主事業

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
レストラン 【収入】 3,000,000円	○		沖縄そば・弁当販売、ケータリング 【収入実績】 4,399,050円	指定管理者へのヒアリングにより確認	報告書のとおり適切に実施されている。	新型コロナウイルス感染症防止対策等の影響で利用者が減少する中で、創意工夫により事業を進めることができたことから、計画を上回ることができた。引き続き、各事業を通して施設利用者の利便性の向上に努める。
その他 【収入】 870,000円	○		自主事業の教室・セミナー運営等の収入 【収入実績】 298,900円		報告書のとおり適切に実施されている。	・レストラン事業では、イベントに合わせてテイクアウトメニューを提供するなど工夫し、計画を上回る収入を確保した。
売店 【収入】 1,300,000円	○		空手関連グッズの開発として、オリジナル商品を制作・販売。沖縄空手会館HPでも販売を実施。 【収入実績】 3,785,180円		報告書のとおり適切に実施されている。	・その他事業（セミナー・体験教室など）については、新型コロナウイルス感染症の影響により、オンラインでの実施が主となり、収入が伸び悩んだ。 ・売店事業においては、新型コロナウイルス感染症の影響により閉店しているものの、Eコマースでのオリジナル商品（お守り等）の販売が伸びたことから、計画を上回る収入を確保した。
空手体験プログラム 【収入】 200,000円	○		沖縄伝統空手道振興会とのタイアップによる団体向けの空手プログラムの収入。 【収入実績】 0円		報告書のとおり適切に実施されている。	・空手体験教室は、県外からの問合せはあったものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、予約までには至らなかった。

2. 運営業務 3. 自主事業 取組改善案	<p>運營業務については、感染症対策のガイドラインの変化に柔軟に対応し、施設利用の活発化、効果的な広報活動、アンケート結果等を踏まえたアフターフォローを行うことにより、利用者満足度の向上に取り組む。</p> <p>自主事業については、安定的に運営ができるようサービス内容の改善・向上に取り組む、利用者の利便性の向上等に取り組む。引き続き、施設利用の促進に努める。</p>
-----------------------------	---

II. サービスの質の評価

評価項目	第三者（利用者等）評価			指定管理者 自己評価	現状分析・課題	
	令和2年度評価 (回答数：52団体)	令和3年度目標	令和3年度評価 (回答数：172)			
維持管理業務 施設・設備 (備品の充実度)	〈満足度〉 84.3% ・とてもよい 63.2% ・よい 21.1% ・普通 15.7% ・よくない 0.0% ・不満足 0.0%	〈満足度〉 —	〈満足度〉 72.2% ・とてもよい 38.9% ・よい 33.3% ・普通 17.5% ・よくない 0.0% ・不満足 0.0% ・今回は利用していない 9.5% 〈意見・要望等〉 ・他にない物を揃えている ・スリッパが欲しい ・椅子をまとめて片付ける カートがあれば便利 ・綺麗	—	備品の維持管理を引き続き行う。	昨年度より満足度が減少した。利用者意見では、備品の充実を求める意見もみられるため、細かいニーズに応えていく必要があると思われる。
運営業務 利用条件 (利用した感想)	〈満足度〉 98.0% ・非常に利用しやすい 80.0% ・利用しやすい 18.0% ・普通 2.0% ・あまり良くない 0.0% ・悪い 0.0%	〈満足度〉 —	〈満足度〉 85.6% ・非常に利用しやすい 50.7% ・利用しやすい 34.9% ・普通 13.8% ・あまり良くない 0.7% ・悪い 0.0% 〈意見・要望等〉 ・鍛錬室の床が滑りやすい。対策を講じて欲しい ・換気されていて、コロナ対策されている ・空調も使えて大変快適 ・木がふんだんに使用された館内なので気持ちがいい ・駐車場が広い ・Wi-Fiが利用できてよかった ・とても清潔で気持ちいい ・道側から来た時に建物の正面が分からなかった	—	非常に利用しやすい・利用しやすいが85%を超えた。引き続き新型コロナウイルス感染防止策も行う。	昨年度より満足度が減少したが、高い水準で維持できている。利用者の細かいニーズを把握し改善に努めることで満足度の向上を図る。
運営業務 利用条件 (利用手続き)	〈満足度〉 75.0% ・とてもよい 53.1% ・よい 21.9% ・普通 18.7% ・あまり良くない 6.3% ・良くない 6.0%	〈満足度〉 —	〈満足度〉 78.9% ・とてもよい 45.2% ・よい 33.7% ・普通 21.2% ・あまり良くない 0.0% ・良くない 0.0% 〈意見・要望等〉 ・予約が1か月単位で取れるとうれしい ・スタッフの方も色々教えてくれたりわかりやすい ・メールのやり取りがスムーズで気持ちがいい ・毎回記入項目が多く面倒	—	とてもよい/よいと回答した利用者が75%を超えた。決済方法の拡充など利便性の向上に努める。	昨年度より満足度が向上し、良好である。引き続き利便性の向上に努め、満足度の向上を図る。

<p>自主事業 (レストラン・売店)</p>	<p>〈満足度〉 76.4% ・満足 55.3% ・ほぼ満足 21.1% ・普通 21.1% ・やや不満 2.5% ・不満 0%</p>	<p>〈満足度〉 —</p>	<p>〈満足度〉 65.3% ・満足 44.2% ・ほぼ満足 21.1% ・普通 34.7% ・やや不満 0.0% ・不満 0.0%</p>	<p>—</p>	<p>道場施設の利用者にレストランも活用してもらえるよう広報する。</p>	<p>レストラン及び売店は一定の売上実績を確保しているものの、利用者の満足度は低い状況にある。利用者ニーズの把握に務め、商品メニューの開発など、満足度の向上に取り組む必要がある。</p>
<p>総合評価 (各評価項目の平均)</p>	<p>〈満足度〉 83.4%</p>	<p>〈満足度〉 —</p>	<p>〈満足度〉 75.5%</p>	<p>評価 (②満足度)</p>	<p>新型コロナウイルス流行の影響で県外からの来館者が少なく、ほとんどの回答が県内出發者からのものとなった。県内からの来館者は出發地域が多岐にわたっている。県外や海外への発信も怠らなく続ける。</p>	<p>昨年度より、満足度が減少したが、一定の好評価を得ている。利用者のニーズ把握に努め、利便性を高めるよう継続して取り組む。なお、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響による閉館期間が101日と長期となったため、評語を付さず「—」表記とする。</p>

※評価項目については、施設の態様に応じて適宜設定して下さい。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入してください。

※1：満足度とは、回答選択肢のうち中位を超える割合（5段階評価の場合上位2段階の割合、4段階評価の場合上位2段階の割合、3段階評価の場合上位の割合）

ただし、奇数評価の場合、中央に集まる傾向があること、「普通」評価は改善に繋げる観点では価値が乏しいことから、4段階評価が望ましい。

【評価基準（②満足度）】

総合評価においては各評価項目の満足度の平均
各評価項目においてはそれぞれの満足度

S：90%以上

A：80%以上、90%未満

B：70%以上、80%未満

C：70%未満

<p>II. サービスの質の評価 取組改善案</p>	<p>施設を利用した感想や利用手続きにかかる満足度が高い。設備・備品の充実度など、利用者の要望を踏まえた改善を図り、利便性の向上を図る。引き続き、アンケートを実施し、ニーズの把握に努める。</p>
--------------------------------	--

III. サービスの安定性評価（財務状況）

1. 事業収支（1）収入

（千円）

収入項目		令和2年度実績	事業計画	令和3年度実績	前年比 （%）	計画比 （%）	特記事項
利用料金収入	道場施設	7,799	12,171	10,779	138.2%	88.6%	
	展示施設	357	2,000	472	132.2%	23.6%	
	計	8,156	14,171	11,251	137.9%	79.4%	
指定管理料		58,026	58,026	58,026	100.0%	100.0%	
自主事業収入	レストラン	4,262	3,000	4,399	103.2%	146.6%	
	売店	1,741	1,300	3,785	217.4%	291.2%	
	空手体験教室	0	200	0	—	0.0%	
	その他	3,049	870	834	27.4%	95.9%	
	計	9,052	5,370	9,018	99.6%	167.9%	
その他収入		3,642	0	12,670	347.9%	—	
合計（A）		78,876	77,567	90,965	115.3%	117.3%	
〈現状分析・課題〉							
<p>利用料金収入は、新型コロナウイルス感染拡大予防のための施設の利用制限を行ったことにより、計画値に比べ減少となったが、感染症対策を行いながら利用者を増やし、前年度より増加した。自主事業収入については、レストラン事業が好調であるが、その他事業は伸び悩んだ。その他、雇用調整助成金などの補助金を活用し収支バランスを保つよう努めた。</p> <p>新型コロナウイルス感染症により減少した需要をよび戻すため、感染症対策ガイドラインの変更に対応し、施設稼働率の向上を図る必要がある。</p>							

(2) 支出

（千円）

支出項目	令和2年度実績	事業計画	令和3年度実績	前年比 （%）	対計画比 （%）	特記事項	
人件費	24,222	17,394	24,247	100.1%	139.4%		
謝金	982	0	444	45.2%	—		
旅費	140	66	404	288.6%	612.1%		
食料費	0	0	0	—	—		
消耗品費	1,388	1,137	2,453	176.7%	215.7%		
印刷製本費	339	465	380	112.1%	81.7%		
燃料費	0	0	0	—	—		
被服費	0	0	0	—	—		
修繕費	0	100	428	—	428.0%		
光熱水費	13,047	14,801	13,557	103.9%	91.6%		
商品仕入費	2,676	0	3,577	133.7%	—		
通信運搬費	723	161	785	108.6%	487.6%		
広報宣伝費	20	205	55	275.0%	26.8%		
支払手数料	51	118	300	588.2%	254.2%		
販売手数料	0	0	0	—	—		
委託費・管理費	37,971	39,000	36,842	97.0%	94.5%		
賃借料	3,070	2,635	3,033	98.8%	115.1%		
備品購入費	0	0	0	—	—		
保険料	349	235	327	93.7%	139.1%		
租税公課費	1,988	1,096	2,325	117.0%	212.1%		
減価償却費	578	0	1,079	186.7%	—		
購読費	74	0	0	0.0%	—		
諸会費	10	0	15	150.0%	—		
交際費	124	1	100	80.6%	10000.0%		
渉外費	0	0	0	—	—		
雑費	888	153	134	15.1%	87.6%		
合計（B）	88,640	77,567	90,532	102.1%	116.7%		
〈現状分析・課題〉							
<p>事務所内のホーチキや自動ドア等、防災や安全に係る箇所の故障が多く、修繕費が計画よりも大幅な支出増となった。臨時休館中は館内清掃と植栽管理の委託を一時的に停止し、窓口担当職員が代替して行い委託管理費を削減した。</p> <p>計画よりも経費がかかっているため、効率的な施設運用に努め、経費削減を図る。</p>							

2. 経営分析指標

評価指標	令和2年度実績	事業計画	令和3年度実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項
事業収支 (C) (収入(A) - 支出(B))	△ 9,764千円	0千円	433千円	-4.4%	-	
収益率 (事業収支(C) / 収入合計(B))	-12.4%	0.0%	0.5%	-3.8%	-	
利用料金比率 (利用料金収入 / 収入(A))	10.3%	18.3%	12.4%	119.6%	67.7%	
人件費比率 (人件費 / 支出(B))	27.3%	22.4%	26.8%	98.0%	119.4%	
外部委託費比率 (外部委託費合計 / 支出(B))	42.8%	50.3%	40.7%	95.0%	80.9%	
利用者あたり管理コスト (支出(B) / 利用者数)	744.0円	651.1円	759.9円	102.1%	116.7%	
利用者あたり自治体負担コスト (指定管理料 / 利用者数)	487.0円	487.0円	487.0円	100.0%	100.0%	
(現状分析・課題)						
新型コロナウイルス感染症による閉館措置など影響による利用料金減少分は、雇用調整助成金などの補助金を活用したこと、コロナ禍においても自主事業を工夫し、前年度より増収したことにより収支バランスが改善した。今後も、創意工夫により収支均衡に努める必要がある。						

評価 (③財務状況)

-

【評価基準 (③財務状況)】

収益率 (事業収支 / 収入合計)

A : 0%以上

B : -5%以上、0%未満

C : -5%未満

Ⅲ. サービスの安定性評価 (財務状況) 取組改善案	各事業での経費等の見直しやコロナ禍での収益確保の工夫等に取り組み、事業全体として収支均衡に向けた取り組みを図る。 また、施設利用者の利便性向上等にも取り組みながら、効果的な宣伝PR等を通して誘客に努める。 なお、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響による閉館期間が101日と長期となったため、評語を付さず「-」表記とする。
----------------------------------	--

【経営分析指標の評価の考え方】

評価指標	計算方法	評価の考え方
事業収支	収入 - 支出	事業収支がマイナスの場合、継続性の面で課題となるため、県、指定管理者で協力して黒字化のための方策を協議する必要がある。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。
収益率	事業収支 / 収入	計画、過年度実績、類似施設と比較して、安定したものとなっているか、適切な範囲内となっているか確認する。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※計画等に対し上昇している場合、必要な変動費が十分に充てられているか確認すること。また、計画等に対し減少している場合、当初の収支見込が適切であったか精査すること。
利用料金比率	利用料金収入 / 収入	指定管理者の主な収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。 ※増減がある場合には、利用料金そのものの増減によるものか、自主事業等その他収入の増減によるものかなど、その要因を整理すること。
人件費比率	人件費 / 支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※変動がある場合には、人件費そのものの増減によるものか、その他支出項目の増減によるものか、その要因を整理すること。 ※人件費の減少がある場合には、それにより効率が低下していないかを確認する。また、人件費の増加がある場合には、求められる管理水準に対し必要な措置か確認すること。
外部委託費比率	外部委託費合計 / 支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※増減がある場合には、外部委託の範囲が仕様書等に定める適切な範囲内となっているか、外部委託の活用が業務の効率化に繋がっているか確認する。
利用者あたり管理コスト	支出 / 利用者数	利用者1人に対する管理コストについて、過年度実績や類似施設と比較することにより、当該施設の効率性を確認する。(コストが抑えられていても利用者が減少していないか、あるいは利用者は増加しているがコストがかり過ぎていないかなど) ※変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※過年度に対し上昇している場合、現状の利用者数に対して支出が過大になっていないか確認する。また、過年度に対し減少している場合、現状の利用者数に対し、必要な変動費が十分に充てられているか確認する。
利用者あたり自治体負担コスト	指定管理料 / 利用者数	利用者1人に対する県の財政負担を確認する。 過年度実績や類似施設との比較により、当該施設の効率性を確認する。

IV. 総合評価

1. 目標

評価項目	評価指標	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考	
成果指標	①利用状況	利用者数	146,000人	155,000人	164,000人	173,000人	
	②満足度	満足度	90%	90%	90%	90%	
財務指標	③財務状況	収益率	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	

2. 評価結果

評価項目	評価指標	令和2年度実績	事業計画(目標値)	令和3年度実績		現状分析・課題	評価	取組改善案	令和4年目標値		
				前年比	計画比						
成果指標	①利用状況	利用者数	32,965人	146,000人	74,518人	226.1%	51.0%	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一部利用制限を行ったことが利用者及び観覧者数が減少した。	-	コロナ禍のもとで、感染症対策の徹底、ターゲット層に応じた各種メディアを活用した広報活動、丁寧な顧客対応などに取り組み、集客を図る。	155,000人
	②満足度	満足度	83.4%	90%	75.5%	90.5%	83.9%	利用者の満足度の向上を図るため、アンケートの評価項目の見直し、回収数を上げる工夫を行う必要がある。	-	施設の利用者の満足度の向上を図るため、アンケート項目の見直しや回収率の向上を図る。	90%
財務指標	③財務状況	収益率	-12.4%	0.3%	0.5%	-4.0%	166.7%	収入について、自主事業が対前年比で大幅に減となっていることや、支出では職員増員等に伴う人件費の増加が影響し、収益率は△3.6%である。 人件費等の経費見直しや広報の工夫などによる入館者の増加対策等も併せて行い、収支改善を図る必要がある。	-	事業の継続性を確保する観点から、事業収支の改善を図る。	0.3%
活動指標	④重点取組事項	自主事業(売店・レストラン)	〈満足度〉 76.4% ・満足 55.3% ・ほぼ満足 21.1% ・普通 21.1% ・やや不満 2.5% ・不満 0%	-	〈満足度〉 65.3% ・満足 44.2% ・ほぼ満足 21.1% ・普通 34.7% ・やや不満 0.0% ・不満 0.0%	85.5%	-	空手発祥の地・沖縄を国内外へアピールするため、空手体験プログラム等の自主事業を充実させ、来館者の増加を図る。	-	レストランや売店の利用が好調なため、引き続き指定管理者制度の強みである民間企業のノウハウを活用した自主事業の充実の取組を図る。	95%

新型コロナウイルス感染症の影響による閉館期間が101日と長期となったため、今年度については、評語を付さず「-」表記とする。

総合評価

-

※「現状分析・課題」「取組改善案」は6-I～IIIから転記する。

【評価基準】

①利用状況

目標値に対する達成率

S：110%以上

A：100%以上、110%未満

B：80%以上、100%未満

C：80%未満

②満足度

総合評価における満足度（各評価項目の平均値）

S：90%以上

A：80%以上、90%未満

B：70%以上、80%未満

C：70%未満

③財務状況

収益率（事業収支／収入合計）

A：0%以上

B：-5%以上、0%未満

C：-5%未満

④重点取組事項

目標に対する評価

S：目標を大きく上回る

A：目標を概ね達成

B：目標を下回る

C：目標を大きく下回る

【総合評価基準】

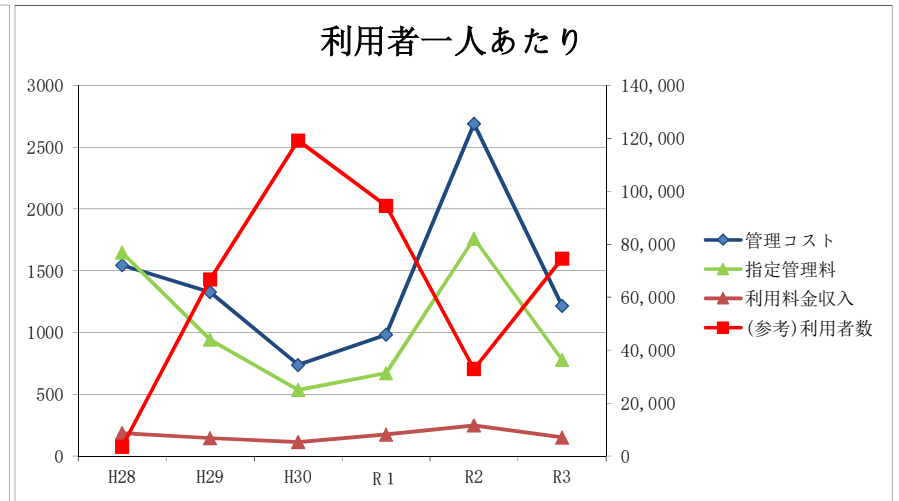
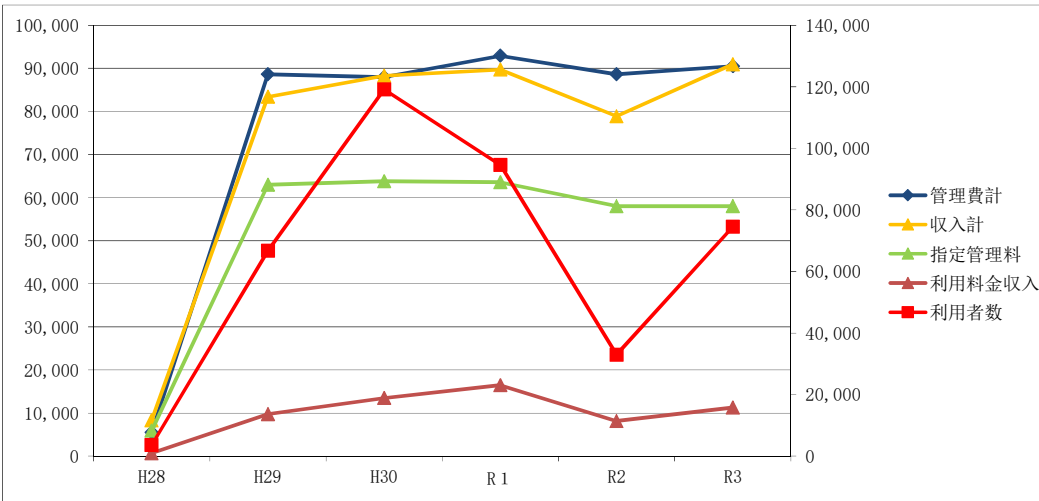
総合評価基準	
S	40点以上 <small>かつ各評価項目において C評価がないこと</small>
A	25点以上
B	10点以上
C	5点以下

【各評価項目点数】

	① 利用状況	② 満足度	③ 財務状況	④ 重点 取組事項
S	20	20	-	10
A	10	10	5	5
B	0	0	0	0
C	-10	-10	-5	-5

経営状況分析シート【施設名称:沖縄空手会館】

指標		単位	直営			指定管理																	
			H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3		
成果指標	利用者数	目標															-	-	119,000	128,000	137,000	146,000	
		実績	人															3,560	66,730	119,140	94,561	32,965	74,518
		目標比 H30比	%															5%	100%	179%	79.4%	34.9%	226.1%
財務指標	指定管理料	千円															5,864	63,000	63,812	63,583	58,026	58,026	
	県負担割合(指定管理料/管理費)	%															106.7%	71.1%	72.5%	68.4%	65.5%	64.1%	
	利用料金収入	千円															663	9,746	13,488	16,470	8,156	11,251	
	利用料金比率(利用料金/収入計)	%															8.0%	11.7%	15.3%	18.4%	10.3%	12.4%	
	収入計	千円															8,302	83,390	88,277	89,693	78,876	90,965	
	管理費計	千円															5,498	88,619	87,983	92,920	88,640	90,532	
	収支	千円															2,804	-5,229	294	-3,227	-9,764	433	
/単位	収益率(収支/収入計)	%														33.8%	-6.3%	0.3%	-3.6%	-12.4%	0.5%		
	一人あたり管理コスト	円														1544	1328	738	983	2689	1215		
	一人あたり指定管理料	円														1647	944	536	672	1760	779		
	一人あたり利用料金収入	円														186	146	113	174	247	151		



特記事項 ※年度毎の変動について要因分析を記載

R3年度	新型コロナウイルス感染拡大防止のため施設の一部利用制限等の影響により、利用者数が伸び悩んだ。
R2年度	新型コロナウイルス感染拡大防止のため施設の一部利用制限等の影響により、利用者数が大幅に減少した。
R1年度	新型コロナウイルス感染拡大防止のため施設の一部利用制限を行ったため、利用者数が減少した。
H30年度	第1回沖縄空手国際大会の開催等もあり、利用者が増加した。
H29年度	実質的に供用開始初年度
H28年度	平成29年3月4日供用開始
H27年度	

目標設定の考え方

※目標設定の根拠や考え方などを記載

R3年度	平成29年度実績を踏まえ利用者数等の見直しを行い、再設定した目標値
R2年度	平成29年度実績を踏まえ利用者数等の見直しを行い、再設定した目標値
R1年度	平成29年度実績を踏まえ利用者数等の見直しを行い、再設定した目標値
H30年度	平成29年度実績を踏まえ利用者数等の見直しを行い、再設定した目標値
H31年度	平成29年度実績を踏まえ利用者数等の見直しを行い、再設定した目標値
令和元年度	平成29年度実績を踏まえ利用者数等の見直しを行い、再設定した目標値
令和2年度	平成29年度実績を踏まえ利用者数等の見直しを行い、再設定した目標値